



たった一人で悩んでいませんか？ DV

◆ DV(ドメスティックバイオレンス、配偶者間暴力)とは・・・



相手と別れて経済的に自立できるか不安…このまま一緒にいた方が良いのかな。

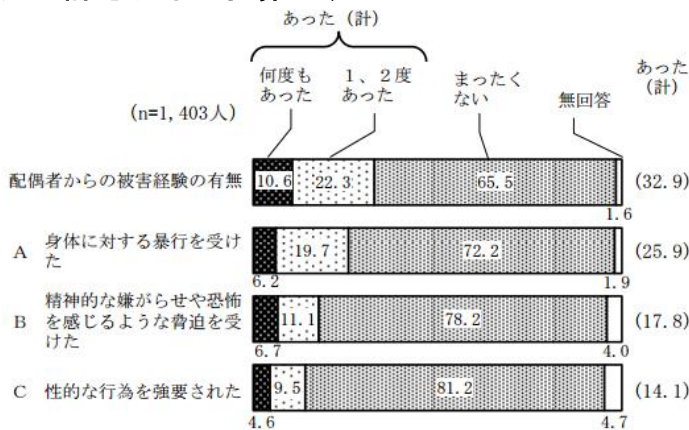
あんなに殴られるなんて、自分にも悪いところがあったのかもしれない。我慢しなきゃいけないのかな・・・。



どんな理由があっても暴力は許されるものではありません！！

パートナーとは対等の立場であり、一方的に力や言葉で押さえつけられるのを我慢しなくても良いのです。体や心への暴力がだんだんひどくなったり、一緒に暮らす子供や親にまで悪い影響が及んでいると感じたら、どうか勇気を出して信頼できる人などに相談してください。

◆ 暴力は許されない犯罪です！



(『男女間における暴力に関する調査』 2012年4月内閣府男女共同参画局発表)

上のグラフから、女性の約3人に1人が配偶者から暴力の被害を受けた経験があることがわかります。

また約10人に1人が、何度も被害を受けていると答えているのです。

たとえ配偶者間であっても暴力は犯罪であり、愛やしつけなどを言い訳に許されるものではありません。

身近に悩んでいる方がいたら、DVに関する相談窓口があることを伝えてください。

DVの相談窓口

- 町田市男女平等推進センター
女性悩みごと相談

☎ 042-721-4842

月・火・木・金・土曜日 9時30分～16時
水曜日(第3水曜日を除く) 13時～20時

- 東京都配偶者暴力相談支援センター
東京都女性相談センター

☎ 03-5261-3110

月～金曜日 9時～20時

- 東京ウィメンズプラザ

☎ 03-5467-2455

毎日 9時～21時

被害を受けた、又はその恐れがある場合は警察へ連絡を！

- 町田警察署生活安全課

☎ 042-722-0110

月～金曜日 9時～17時

セミナー

“FPがアドバイスする「高齢者に知ってほしい3つのこと」”

実施日：11月16日（土）

講師：高齢者福祉を考える会（ファイナンシャル・プランナー）

場所：市民フォーラム3階活動室

内容：①入院したらいくらかかる？ ②自宅で最期を迎えられる？ ③相続が争族になる事例は？

詳細・申込については、広報まちだ10月21日号でご案内します。

映画と講演のコラボレーション

「女が『男職場』に入るとき一壁を乗り越え、男女のスムーズな関係を作るには・男女共同参画社会の実現を目指して」

実施日：11月19日（火）

講師：高橋 陽子さん

場所：市民フォーラム視聴覚室

内容：映画「スタンドアップ」上映、講演「映画から学ぶもの D V、セクハラ」

詳細・申込については、広報まちだ10月21日号でご案内します。

講演会

「子どもたちに伝える命の物語」～本当の知恵を求めて。世界へ・地球へ・未来へ～

実施日：12月21日（土）

講師：桃井 和馬さん

場所：市民フォーラム3階ホール

内容：これまでに130カ国を「紛争」「地球環境」などを切り口に取材を続けている講師によるレクチャー

詳細・申込については、広報まちだ11月号でご案内します。

残暑おみまい
申いおけす



シネマでトーク

大きなスクリーンで名画を観て感想を話し合しましょう。 **無料**
市民フォーラム3階 活動室

*10月8日(火)14:00
「ミス・ポター」

2006年(アメリカ)93分
その恋が私を変え、私の絵が世界を変えた!!「ピーターラビット」の原作者ビアトリス・ポターの半生を描いた一作。

*11月12日(火)14:00
「博士の愛した数式」

2005年(日本)117分
永遠に心に生き続ける「至高の愛」の物語!大ベストセラーの映画化。

*12月10日(火)14:00
「母たちの村」

2004年(フランス・セネガル)124分
愛と尊敬の人間賛歌!今もアフリカの多くの地域で問題になっている女子割礼の儀式と、それを取り巻く人々のドラマを力強く描く。

☆「暮らしのフェア」(7月6日)では、映画「マーガレット・サッチャー」の上映において、①会場の都合

三歳の時、日比谷での打ち上げ花火で火の粉を浴び、に始まる自伝から1971年5月85歳で亡くなるまでの言葉は、そのまま現在を生きる私たちへの遺言集。「私の名前」で通じた事実婚、助け合いの共同住居、出産や育児をしつつ働く、女性への下支え。まさに自ら「太陽」となって実践し、男女の平等参画社会をめざす輝かしい多くの言葉を残した。どのページを開けても、そこに現在を見る思いだ。新しい人、いろいろなさんを発見できる本。

蔵書紹介 図書の貸し出しやDVD・ビデオの視聴ができます!
『「金色の自画像」 平塚らいてう ことばの花束』 米田佐代子編

第14回まちだ男女平等フェスティバル ＜実行委員会がスタートしました！＞

「第14回まちだ男女平等フェスティバル」が来る2014年2月1日(土)～2日(日)に、町田市民フォーラムにて開催されます。

フェスティバルは実行委員会(運営委員会や登録団体及び個人で構成)が主催します。

第1回実行委員会が7月9日に開催され、実行委員長を選出しスタートしました。実行委員会は毎月開催され、メイン企画を始めとして様々な企画を準備していきます。

☆第1回フェスティバルは2001年に開催され、当時の内閣府男女共同参画局長 坂東真理子さんが「21世紀男女共同参画社会へ」と題して男女共同参画宣言記念講演を新設フォーラムで行いました。昨年の第13回フェスティバルは、メイン企画「100年後の未来のために いわさきちひろから私たちへ」(講演:海南友子さん)を始め、多彩な企画で開催され、2日間の参加者が延べ3008名と大盛況でした。

登録団体紹介

男女平等推進センターには登録団体が2013年8月現在で43団体あります。

登録団体名を紹介します。(順不同)「種の会」「ひまわり」「おわら踊り・酔芙蓉」

「町田パソコン研究会」「mネットまちだ」「クック マスターズ」「まちだ「女性プラン」を考える会」「サブリング」「町田茶道会」「新日本婦人の会町田支部」「つきくさの会」「GW kiki」「高齢者福祉を考える会」「町田革新憲法連続講座実行委員会」

「慰安婦 問題を考える会」「町田断酒会」「東京都教職員組合町田支部女性部」「フラサークル・アロアロ」「生活クラブ運動グループ町田市地域協議会」(次号に続く)